

2021 年度第 1 回函館市高齢者計画策定推進委員会の 書面開催に係る意見・質問集約

1 意見

(1) 齋藤委員 資料 3-2 の 1 ページ 指標 3 に関して

- ・ 以下のとおり、介護予防教室の効果的な手法等の参考情報を提供します。
- ・ 2021 年 9 月 30 日の日本眼科記者懇談会資料「国家戦略としての“フレイル”予防そして“アイフレイル”との関わり」のなかでは、「身体活動（運動習慣）」、「文化活動」、「ボランティア・地域活動」の各活動の組み合わせが、フレイルへのリスク軽減にどう影響するかについての調査結果が記載されています。

※ 資料 URL : https://www.gankaikai.or.jp/press/20210930_4.pdf

- ・ それによると、「文化活動」、「ボランティア・地域活動」を行っているグループの方が「身体活動（運動習慣）」を行っているグループよりも、フレイルへのリスク軽減の効果が高いとの結果となっています。
- ・ また、同資料に記載のとおり、オーラルフレイルとともに「アイフレイル」への対応も重要です。
- ・ アイフレイルについては、日本眼科啓発会議 アイフレイル啓発公式サイトに関連情報がありますので併せて情報提供します。

※ 公式サイト URL : <https://www.eye-frail.jp/>

(2) 小杉委員 資料 3-2 の 1 ページ 指標 3 に関して

- ・ 介護予防教室の定義が函館市主催の「プラチナフィットネス」とのことでしたが、地域においても、リーダー的な高齢者や町会、サークルなどが自主的に開催している教室が多くあります。
- ・ 地域包括支援センターでも、それらの教室等の後方支援を十数年、継続しています。
- ・ 市主催のものだけでなく、それらの取組こそ、これからの地域包括ケアに必要で増やしていきたいところだと思います。
- ・ 認知されていない教室もあり、カウントすることにも手間がかかり、難しいとは思いますが、今後、それらの活動についても焦点をあてていただけたらと思います。

(3) 所委員 資料3-2の1ページ 指標4に関して

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用控えは確かにあったと思います。また、感染症がおさまると共に利用控えも少なくなっていくとは思いますが。
- ・ 通所リハビリテーション施設等のサービス提供の形態は、大規模施設での多様な時間帯で行われるものもあれば、入浴等がなく午前・午後の部と短時間提供で行われるものもあるなど、選択の幅がある点は良いと思います。
- ・ 医療から介護へリハビリが移行した際、提供時間が短くなることに不満を漏らす方もいるので、説明が大事と考えます。
- ・ 訪問リハビリテーションは通所を嫌がったり、利用できない環境にある方にリハビリテーションを行うことの重要性を感じてもらい、予防支援につなげられるよう、今後も勧めていきたいと思っています。
- ・ 提供事業所やリハビリテーションスタッフが少なく感じることで、提供事業所が増え利用がしやすくなるとよいと感じます。

(4) 齋藤委員 資料3-2の2ページ 指標5に関して

- ・ <課題や対策、今後の展望など>のコメントに「認知症サポーター養成研修を若年層へ普及啓発することで、介護のしごとアピールにも繋がる。」という一文がほしいと思います。

(5) 所委員 資料3-2の2ページ 指標6に関して

- ・ 情報共有ツールになじみ、利用することに慣れてきていますが、未だ利用していない医療機関もあり、連携がスムーズにできないこともあります。
- ・ 「函館市」の事業として進めていることと思うので、すべての医療機関・介護事業所が同方向を向き、一利用者へかかわりを持っていけるようになると、情報交換などもスムーズにできるようになると思います。
- ・ 利用することに積極的になるよう働きかけをしてほしいと思います。

(6) 所委員 資料4に関して

- ・ 4月より各地域包括支援センターが多機能型包括支援センターとして活動が始まります。
- ・ 高齢者のみではなく、若年者・障がいを持った方等多方面にわたっての支援活動になると思うので、期待が膨らんでいます。
- ・ 協働して係わりを持っていく事が重要と感じます。

2 質問

(1) 齋藤委員 資料1の1ページに関して

- ・ 函館市の高齢化率のピークはいつ頃を想定しているのでしょうか。また、その時の人口も伺いたい。

< 事務局からの回答 >

- ・ 本計画での推計期間内（2040年まで）に高齢化率のピークは出現しませんが、函館市人口ビジョンにおける人口の将来展望による2060年までの推計では、高齢化率は2045年～2055年頃に45～50%前後に達してピークを迎え、その際の人口は、約180,000人～135,000人との推計をしております。

※ 函館市人口ビジョン

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020031000013/files/jinkouvision2.pdf>

（関連ページ 20～23 ページ）